	品目: ()
茶・薬用作物等地域特産作物体茶・いぐさ農業機械等リース	

第1 事業の目的

<u>本欄には、事業実施地区における近年の品目〇〇の概要、本事業により導入を希望する農業機械等の活用を踏まえた今後の展開方向について記述すること。</u>

第2 事業計画総括表

1 事業の内容

	E:		目標数値	標数値						負担区分				
県名及び 市町村名	马	目標			1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1			事業内容(導入する農業機械等 の種類)及び事業量(単価、台 数)	事業内容(導入する農業機械等	る農業機械等 _終	総事業費 国庫補	自己負	マの44	備考 (燃油の種類
市町村名	又皿石石	口派	現状	目標	増減 (増減率)	農業 従事者	面積			助金	担	ての他	等)	
			(年度)	(年度)	%		ha				円	円	円	
		1kg当たりの燃 油等使用量を 削減(%)								0				
		10a当たりの労 働時間を削減 (%)								0				
		1戸当たりの栽 培面積を増加 (%)								0				
合計						0	0			0				

- (注) 1 「目標」の欄については、「茶」は「荒茶1kg当たり燃油等使用量を削減」、「いぐさ」は「原草1kg当たりの燃油等使用量の削減」、「10a当たりの労働時間の削減」、「1戸あたりの栽培面積の増加」のいずれかを選択し、記入する。
 - 2 「目標数値」の「現状」については、直近3か年の平均値(ただし、新規参入等により現状値を算出できない場合は、当該品目の地域内の類似経営の平均的な 燃油等使用量を基準として利用できるものとする。)とし、確認できる書類を添付すること。
 - 3 「事業内容」の欄については、Ⅱの第4の4の農業機械等、「事業量」の欄には、その単価、台数等を記入すること。
 - 4 「備考」欄の「燃油の種類等」については、「A重油」、「灯油」、「LPガス」等を記載する。
 - 5 A重油への換算は、以下の比率をもとに計算する。(算定に当たっては、経済産業省の「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)」に 基づく。)

A重油: 1.000、灯油: 0.939、LPG: 1.299、原油: 0.977(ただし、LPGで使用量が(m3)単位で示されている場合は、供給業者にt(トン)に換算する係数を確認し

- 6 「備考」欄に総事業費に対する国庫補助金の割合を記入すること。
- 7 「備考」欄に県、市町村等の事業実施主体以外の団体が別途負担する場合には、その団体名及び補助率を記入すること。
- 2 事業完了予定(又は完了) 令和 年 月 日

第3 事業実施計画の詳細

1 農業機械等の保管・設置場所

農業機械等名	農業機械等の保管・設置場所	導入時期	備考
		年 月	

(注)「備考」の欄に事業の管理に当たる責任者を記入する。

2 農業機械等の利用計画

受益者名	本事業で導入する 農業機械等名(型式)	受益農業 従事者 (名)	受益面積 (ha)	台数 (台)	茶セーフティネット の加入	人・農地プラン等 への位置づけ	備考

- (注) 1 「茶セーフティネットの加入」欄は、受益者が事業実施年度に加入している場合は「O」をつけること。
 - 2「人・農地プラン等への位置づけ」については、次の①~③のいずれかに該当する場合に〇を記入する。
 - ①人・農地プランにおいて、中心となる経営体として現に位置付けられ、又は位置付けられることが確実である。
 - ②経営再開マスタープランにおいて、中心となる経営体に位置付けられ、又は位置付けられることが確実である。
 - ③地域計画において、目標地図に位置付けられ、又は位置付けられることが確実と見込まれる。
 - 3 「備考」欄は、いぐさの場合、導入している品種又は今後導入予定の品種を記載すること。

3 リース助成額

農業機械等名(型式)						
リース期間	開始日~終了日(※1)			~	(日)	備考
ラーへ 期 间	リース借受日から〇年間(※2)			(年)		
リース物件取得予定価格(消費税抜き) ①						
リース期間終了後の残存価格(消費税抜き) ②		2	(円)			
リース料助成額(注2) ③		3	(円)			
リース諸費用(消費税抜き)		4	(円)			
消費税		5	(円)			
事業実施主体負担リース料(消費税込み) ①-②-③+④+⑤			0 (円)			

- (注) 1 ※1及び※2については、いずれかを記入すること。
 - 2 リース助成額③は、A、Bいずれか小さい額を記入すること(千円未満は切り捨て)。
 - A: (①×(リース期間/法定耐用年数))×1/2以内
 - B: (1)-(2) × 1/2以内
 - 3 本様式には事業実施主体のリース助成額を記入すること。なお、本リース助成額の根拠となる、受益者ごとのリース助成額も本様式を活用して算出し添付すること。
 - 4 リース事業者の見積書の写し等を添付すること。

4 リース事業者に機械を納入する業者の選定方法の計画

事業者選定方法	一般競争入札 ・ 指名競争入札 における競争見積 (いずれかに〇をつける)
指名競争入札における競争見積の場合の指名業者選定 の考え方	

第4 その他関係資料

- (1)組織及び運営についての規約等の写し、財務諸表(又は収支予算書、収支決算書等)
- (2)本事業で取り組む内容のパンフレット、見積書
- (3)事業実施場所、現況写真等
- (4)その他、地方農政局長が必要と認める書類